

みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日 9月23日手話言語の国際デー

「来て、参加してよかった」と言われるおもてなしをすること

田中桂子さん(福井国体・全障スポ情報支援ボランティア養成担当総括)講演会(2/23)

福井しあわせ元気国体・全国障害者スポーツ大会は昨年9月29日から10月15日まで、ほぼ切れ目なく開催されました。

この期間に手話通訳・要約筆記の情報支援ボランティアの実人数は527名に及びました。福井県は手話通訳士11名、手話通訳者登録50名と本県を少し上回る人的な基礎があります。

この情報支援ボランティアを大会の3年前から養成配置等諸々の総括として活躍された田中桂子さんを招いて講演会を行いました。

4年後の佐賀大会の準備の一環として県内各地の手話サークルから約90名が参加されました。

<講演要旨>

少ない人口でも大会の規模は同じで、全障スポは選手3500人、役員2000人、観客等3日間で9万人。国体は選手2万2千人、観客等11日間で70万人の大きな大会です。

福井国体の開会式はめったにこない台風に見舞われ大変でした。

情報支援ボランティアの募集、養成研修会、大会当日の配置等を競技会場地元サークル、聴覚障害者協会と協力して何とか乗り切りました。

競技団体との意思疎通の不手際や手話奉仕員等の通訳、要約筆記記者の不足等を手話担当者がカバーする等、現場での奮闘模様や数々のエピソード、苦労話がてんこ盛りの内容で話されました。



<特に強調されたこと>

○日頃からろう者と交流し生きた手話でしゃべりましょう、ということ。
つまり、基本は日常の手話であること。

○来てよかった、参加してよかったと思ってもらえるような、おもてなしをすること。

○コミュニケーションの手段は何であれ、まずは伝える気持ち。受け取る気持ちを前面に出すこと。

そして「ボランティアに参加して良かった」「人生の輝かしい1ページにしてほしい」を4年後の佐賀大会に向けたメッセージとして贈られました。

スマホ難聴に注意 WHO 警告 1 週間の目安 80 デシベル 40 時間まで

3月3日は「国際耳の日」です。WHO=国連保健機関は、世界の12~35歳までの約半数11億人がイヤホン等を使ってiPadやスマホ等を大音量で聴くことにより、騒音性難聴になる危険性を指摘しています。

WHOでは、1週間の安全な目安として地下鉄の車内や幹線道路沿いの環境音に相当する80デシベルで40時間とされています。あわせてスマホの音量制限機能や1週間の累計音量表示機能を業界に求めています。

シリーズ (16)

山口相談医のひと言コメント

補聴器の医療費控除について



聴覚障害が強いと、障害者認定を受けることができます。認定を受けることで、例えば補聴器購入の際の補助が出たりします。補聴器を検討されるときには、耳鼻科に相談していただきたいと思います。ただ、「障害者認定」ですから、「少し聞こえが悪い」程度では基準を満たさないこともあります。

具体的には、「両耳の聴力が70dB以上、あるいは片方が90dB以上でかつ、もう片方が50dB以上」である場合6級の認定ということになります。このレベルでも実際にお話すると、「かなり聞こえていらっしやらないな」という実感があるほどです。これよりさらに悪いと程度に応じて、4級、3級、2級とより重度の認定があります。4級は両耳が80dB以上、または語音明瞭度が50%以下。3級は両耳が90dB以上。2級は両耳が100dB以上、となっています。

等級が重度になると、補助・補償の範囲が広がります。(詳しくは最寄りの市町の障害福祉担当課にお尋ねください)

全国障害者スポーツ大会

会場・施設視察会(3/1)

視察会には、手話サークル連絡協議会等11名が参加。今回は県の西部地域、嬉野市、鹿島市、太良町、白石町の5会場を視察。それぞれ市町の担当者から説明がありました。今後具体的な情報支援室の設置、手話通訳者、要約筆記のDVD作業場所等は競技の会場レイアウトの作業等と調整が必要になります。グランドソフトボールの会場は周囲に道路があり、片面は水田があるため、収穫時のコンバインの音をどうするかといった地域農協との調整を今後すすめるそうです。

編集後記：3/1～2、全国の聴覚障害者情報提供施設の会議に参加し、情報・意見交換ができた。佐賀は後発ながらしっかりやっていると感じた。(と)

祝

手話通訳者

全国統一試験

合格



山口 真由美さん



真崎 真紀子さん



渡邊 麻理子さん



池上 貴子さん



中島 妙見さん



手話通訳者全国統一試験の合格発表があった(3/1)。本県からは、11名が受験、5名が合格した(合格率45.5%で昨年に続き全国トップ)。全国で1,762名が受験し、316名が合格(合格率17.9%)。手話通訳士2名の合格に続き手話学習者にとって一層の励みとなる成果です。

みみサポーター養成講座修了式(2/23)

1月19日から全3回の講座は2月23日で終了し3名が修了。聴こえの仕組みや難聴者の体験談、聞き取りやすい環境設定などを学びました。

要約筆記ミニ講座開講式(3/2)

全5回(3/2～3/30)開講、7名受講。

手話通訳者養成講座Ⅲ修了式(2/16)

9月1日から全12回の講座は2月16日で終了し13名が修了。次は手話通訳者全国統一試験、手話通訳士試験にチャレンジ!!



佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目 1-12 (佐賀商工ビル4階)

TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705

メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp

ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

<開館時間>

9:30 ~ 18:00

<閉館日>

毎週月曜日、祝日